

遊佐町

いざ、教科書の舞台へ！
 海拔 0m から 2,236m で五感フル稼働！

日本海と鳥海山に囲まれた遊佐町。ひとつの町に海・山・農業・民泊すべてのフィールドが揃いました。自然体験・農業体験はもちろんのこと、社会科・理科もほんものの自然で確かめましょう。五感をフルに使うことで得た経験、鳥海山を中心とした豊かな自然がくれる暮らしと、そこに生きる人々との触れ合いは、きっと体験を超えたものを得ることができます。いざ、教科書の舞台へ。



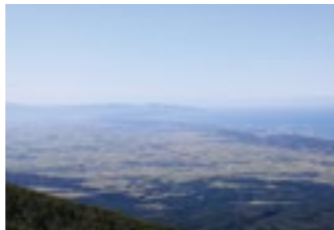
＊「ほんもの」で学ぶ

小学校5年生の社会科で学ぶ米づくりの舞台として取り上げられる庄内平野、理科で学ぶ流水の働きがまとまった海水浴場など、机で学んだことを本物の自然で確認します。また、それらを包括的に学ぶことで持続可能な社会を目指す環境教育としての位置づけを得ることができます。



＊農作業体験を超えた農業体験

農業は畑や田んぼに出て作業をすることがすべてではありません。農家はそこに辿り着くまでに様々な努力や協力、苦労をしています。例えば農業に欠かせない水はどこからどのように得ているか知る人は少ないです。そんな農業の根底まで含めた農業体験が可能です。



体験施設

四季の森 しらい自然館



集団宿泊、野外炊飯、キャンプができます。専用の体育館完備なので雨天プログラムの対応も可能です。木のぬくもりあふれる館内で子ども達もゆったり過ごすことができます。
 所在地：遊佐町白井新田字見晴野 21
 収容人数：80名

鳥海温泉 遊樂里



遊佐町内に2か所ある温泉のうちのひとつ、鳥海温泉の宿泊施設です。農業体験や自然体験のあとの温泉で心身ともに癒されるでしょう。
 所在地：遊佐町吹浦字西浜 2-96
 収容人数：150名

西浜・キャンプ場



美しい松林に囲まれた、海も山も満喫できるキャンプ場。すぐそばには日本海が広がり海水浴や釣りを楽しむことができます。付近には日帰り温泉や全天候型スポーツ施設もある便利な立地です。
 所在地：遊佐町吹浦字西浜 2-62
 収容人数：テント300張り

遊佐町

おすすめモデルコース

自然体験と郷土食体験コース
 (1泊2日の場合)

1日目

- 昼食 野外炊飯…お米の食べ比べ
 胴腹滝探検または高瀬峡トレッキング
 地元ガイドが案内
 夕食
 「民泊」または「しらい自然館泊」

2日目

- 座禅体験
 郷土食体験…笹巻き・豆腐づくりで伝統の技、味を感じよう
 お別れの会

体験内容

- 胴腹滝では山肌に湧き出る二筋の水を飲み比べ、水の冷たさを体感しましょう。
- 高瀬峡トレッキングでは、ゴールに待ち構える大滝まで協力して進みます。沢を流れる水の音や鳥の声、木のざわめきなど、普段の学校生活では見えない、聞こえないものに気づくことができるでしょう。
- 地元のお母さん方から笹巻きづくりや豆腐づくりを教わります。保存や材料の有効活用など、伝統食の持つ意味を確かめます。自分の作った笹巻きはお土産として持ち帰ることができます。

学習効果

- 湧き水はどこから来るのか、なぜ冷たいのか、など湧水を通して探究心の向上、考える力を養います。
- 座禅体験では自分自身と向き合うことで集中力を高めます。
- 野外炊飯や伝統食づくりを通して、食物に感謝し大切に作る気持ちを育てます。また、伝統食を通じて、地域の文化を学びます。
- 協力して一つのことをやり遂げる経験は人間関係形成能力の向上につながります。

おすすめ体験紹介



メッセージ

鳥海山おもしろ自然塾推進協議会
 会長 齋藤 武

湧水はどこから来るのか？観光ではわからないこんな不思議も「学習」することによってだんだんと見えてきます。鳥海山はこの学習の宝庫です。一緒に海や川や山を訪ね、見て触れて味わって、勉強しましょう。

アクセス



おすすめモデルコース

湧水のみくみと農業体験コース
 (2泊3日の場合)

1日目

- 昼食
 牛渡川…湧き水100%の川には何がいるの？
 釜磯浜湧水…海辺に真水？
 砂防林…先人の生きる知恵を学ぼう
 夕食 野外炊飯…お米の食べ比べ
 「民泊」または「しらい自然館泊」

2日目

- 朝食
 温水ため池見学…大切な水を上手に使う仕組み
 水源見学…水はどこから？
 農業体験…田植え、草取り、稲刈り、畑仕事など
 「民泊」または「しらい自然館泊」

3日目

- 朝食
 竹の器と箸づくり
 地元産そば粉でそば打ち体験
 昼食…自分で打ったそばを自分でつくった器でお別れの会

体験内容

- 湧水100%の牛渡川では、そこに棲む生き物を探すとどんな川かを調査します。
- 釜磯浜湧水では、海辺に真水が湧き出る不思議な現象を観察します。水が湧き出すポイントに手や足を入れると、底なし沼のように入って行ってしまいう体験は大人も思わず声を出してしまう程です。
- 温水ため池、水源の見学は、水路をたどり水の湧き出す場所を探し、農業に利用される水がどのように分配されていくのか、先人が苦労したあとを学びます。
- 農業体験では地元農家の指導のもと、田植え・草取り・稲刈り・畑仕事など季節に合わせた農作業を体験します。
- 竹を使って器と箸を作り、それを使って自分で打ったそばを食べます。

学習効果

- 湧水を切り口として生物多様性と自然の循環を学ぶことができます。
- 川遊び、磯遊び等の自然体験は自然の大きな力を感じることで豊かな人間性を育むことに繋がります。
- 農業体験で生産現場の苦労を体験することで、食に対する意識の高まりが期待できます。また米の食べ比べでは、食の多様性と、選択能力の向上につながります。

人と暮らしに
 触れ合う 感動体験

庄内平野で農業体験(米づくりなど)

米どころの代名詞「庄内平野」で農業を学習できます。田んぼに入り草取りや田植えをすることで白米何気なく口にしている米がどんな苦労をもち作られているかを体感します。

- 所在地 遊佐町白井新田字見晴野 21
- TEL 0234-72-2069
- FAX 0234-72-2081
- E-mail kanko@town.yuza.yamagata.jp
- 受入期間 4月～10月
- 対象学年 小学校高学年～中学校
- 受入人数 80人
- 体験時間 3時間(要相談)
- 料金 一人2,500円～



海辺に真水?不思議な「浜湧水」

世界でも珍しい「浜湧水」は鳥海山の伏流水が海岸に湧き出したもの。山と海が繋がっている「循環」を感じる環境教育が可能です。また、湧き出した水により砂浜が崩れ取られる様子は「流水の働き」を確かめるフィールドにもなります。

- 所在地 遊佐町白井新田字見晴野 21
- TEL 0234-72-2069
- FAX 0234-72-2081
- E-mail kanko@town.yuza.yamagata.jp
- 受入期間 4月～10月
- 対象学年 小学校高学年～中学校
- 受入人数 80人
- 体験時間 3時間(要相談)
- 料金 一人1,200円～



郷土食体験

多様な食が入りこみになった半面、食の風味を見失いがちになった現代。郷土食体験を通して、食が持つ意味や重要性を確かめよう。持ち帰り可能な「笹巻き」や、地元でとれた材料を使った「豆腐づくり」、生産者が直接指導する「そば打ち」などの体験ができます。

- 所在地 遊佐町白井新田字見晴野 21
- TEL 0234-72-2069
- FAX 0234-72-2081
- E-mail kanko@town.yuza.yamagata.jp
- 受入期間 通年
- 対象学年 小学校高学年～中学校
- 受入人数 80人
- 体験時間 2時間(要相談)
- 料金 一人600円～



竹の器と箸づくり

昔の人は身の回りにあるものを活用し生活をより豊かに彩るものにしていました。そんな知恵を学び、豊かで文化的な生活を送ることのできる力を育む学習ができます。竹を切り出し、やすりをかけて器と箸を作ります。作った食器で自分たちで作った食事をとればまた格別です。

- 所在地 遊佐町白井新田字見晴野 21
- TEL 0234-72-2069
- FAX 0234-72-2081
- E-mail kanko@town.yuza.yamagata.jp
- 受入期間 通年
- 対象学年 小学校高学年～中学校
- 受入人数 80人
- 体験時間 2時間(要相談)
- 料金 一人500円～



庄内
エリア

修験の里「出羽三山」での山伏体験
八乙女伝説ゆかりの海岸で漁業体験を楽しもう!

庄内エリア

1400 年来の山岳信仰の聖地出羽三山（月山・羽黒山・湯殿山）は、崇峻天皇の皇子で聖徳太子のいとこである蜂子皇子が開祖といわれています。皇子は争いを嫌い平和と人々の救済を願い信仰の道に入りました。出羽の国、由良海岸から上陸した皇子は八乙女に迎えられ、霊鳥八咫鳥（やたがらす）に導かれて羽黒山にたどり着いたといわれています。県内唯一日本海に面した歴史と伝統のある出羽・庄内地域で、「農」「山」「漁」すべてを体験できるプログラムです。



※ 出羽三山・羽黒山

羽黒山には、月山・羽黒山・湯殿山の三神を合祭した東北随一の大社殿・三神合祭殿、東北最古の国宝羽黒山五重塔、特別天然記念物の羽黒山参道杉並木、羽黒山参籠所斎館などミシュラン・グリーンガイド・ジャパンにも認定された伝統の文化が盛りだくさんです。



※ 由良海岸・八乙女浦

蜂子皇子が上陸したといわれている由良海岸・八乙女浦は、クルージングを楽しみながら見学することができます。由良海岸は日本の渚百選・夕陽百選でもあり、八乙女像が迎えてくれます。



体験施設



宿坊

羽黒山麓に約30軒を連ねる宿坊街は、古来より出羽三山を参拝する人々をお迎えする門前町として栄えてきました。出羽三山詣での前に精進料理を食し、白装束（しろしょうぞく）をまとい、身を清める潔斎（けっさい）の場であり、出羽三山の文化を体現し伝えていく生きた文化施設です。例えば昔から受け継がれてきた精進料理からは、歴史・文化と食の関わりや生活の知恵などを学ぶことができます。

■所在地：鶴岡市羽黒町手向地区



いでは文化記念館

出羽三山の歴史や文化、修験の世界を学び体験できる施設です。臨場感あふれる映像を駆使した「映像シアター」では出羽三山の世界や山伏修行を紹介しています。出羽三山の山伏が吹く法螺貝（ほらがい）の音色には迷夢を覚まし感づきがあるといわれています。この法螺貝（ほらがい）の貴重な試聴体験もできます。

■所在地：鶴岡市羽黒町手向院主南72
■電話：0235-62-4727 ■FAX：0235-62-4729
■URL：http://www.tsuruokakanko.com/haguro/kankou/ideha.html
■駐車場：あり
■入館料：200円（小中）300円（高大）400円（大人）
■開館時期：通年 ■定休日：火曜日
■E-mail：kankoshoko@city.tsuruoka.yamagata.jp

人と暮らしに
触れ合う 感動体験

クラゲ学習会・採取観察会

クラゲの展示種類数世界一を誇る加茂水族館で、クラゲの生態や繁殖・分類などの、クラゲの不思議について学習した後、実際に身近な海に生息するクラゲを観察します。学年に合わせた教材学習が好評です。
*平成26年6月リニューアルオープン

鶴岡市立加茂水族館
■所在地 鶴岡市今泉字大久保656番地
■TEL 0235-33-3036 ■FAX 0235-33-1129
■受付期間 通年
■対象学年 小1～
■受入人数 1回につき40名まで
(40名以上の場合は複数回に対応)
■体験時間 約50分
■URL
http://kamo-kurage.jp/school/kuragegakusyui/



星空観察

星がよく見えることで日本有数の「眺海の森」の高台にある天体観測施設。銀色の天体ドームでは、人間の目の5,000倍もの光を集めることができる。東北最大級500mm反射望遠鏡を使って星の観察ができます。

天体観測館コスモス童夢
■所在地 酒田市土淵葛治郎向20-2
■TEL 0234-61-4012 / 休館日0234-62-2633 (徳島晴さん)
■FAX 0234-62-2792 (眺海の森さんさん)
■受付期間 [全曜日] 19:30～21:30 11:00～17:00
(土曜日) 19:30～21:30 [日曜日] 11:00～17:00 ※応相談
■対象学年 小3～
■受入人数 20名～25名
■体験時間 1時間程度
■料金 50円(小中高) 100円(大人)
■URL http://homepage3.nifty.com/chokainomori-ao/index.html



おすすめモデルコース

小学生・1泊2日

スケジュール例

1日目

- 入村式
- 昼食
- 庄内平野で農業体験
- 農家民泊(泊)

2日目

- 閉村式
- JAあまのめカントリーエレベーター見学
- 昼食
- ウィンドーム立川(風力発電学習)

体験内容

- 農家ってどんなことするの？
田植え、野菜収穫、果物収穫・農家にお泊り
- カントリーエレベーターって何？
お米の流れ(もみ～乾燥～サイロ保管～もみすり)
- 風力発電とは？
全国的にも稀な強風地帯の風力を電力に変える秘密を学びます。

学習効果

- 農家の仕事や暮らしを学び「食」の尊さを知る。
- 田植えから出荷にいたるまでのお米の流れ、作業工程、流通を学ぶ。
- 地球にやさしい環境エネルギーについて学ぶ。

おすすめ体験紹介

Step 1

座禅…神聖な自然の中で心と体を静めたら山頂目指して、いざ出発!

Step 2

羽黒山石段…山伏になりきって石段を登ったら、山頂の三神合祭殿で手を合わせよう!

Step 3

地引き網…冷たい日本海で獲れる近海の魚はなんだろう。

Step 4

海鮮バーベキュー…海の自給自足!自分で獲った新鮮な魚介の味は格別です。

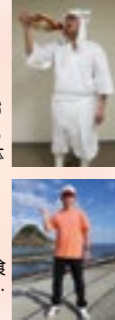
メッセージ

いでは文化記念館 山伏渡邊吉兆さん

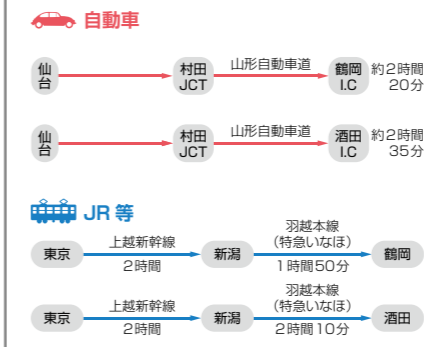
出羽三山とは、羽黒山・月山・湯殿山の総称であり、三山を参りすることによって、人は生まれ変わる言われてきました。自然と一体となって自然のエネルギーを体内に吸収し、日本古来からの山伏の精神文化を実際に体験してみませんか?

ゆらまちっく 指導者 齋藤勝三さん

田舎・漁村・集落で「ゆらの自然の恵み」「ゆらの食の旨み」「ゆらの人の温み」…体感してください!



アクセス



おすすめモデルコース

中学生・2泊3日

スケジュール例

1日目

- いでは文化記念館(集合)
- 「山伏」の講話
- 座禅体験でリラックス
- 羽黒山石段登り(国宝五重塔)
- 三神合祭殿(月山・羽黒山・湯殿山の三神を合祭した大社殿)
- 宿坊 宿泊体験

2日目

- 勤行・掃除・朝食
- 宿坊街の散策
- いでは文化記念館(解散)
- 入村式 由良海岸(出羽三山開祖「蜂子皇子」上陸の地)
- 地引き網体験
- 昼食 海鮮バーベキュー
- 漁村体験(イカー夜干し、海藻染め、クルージング等)
- 漁家民泊(泊)

3日目

- 自主研修または職場体験学習【自主研修】
- 鶴ヶ岡城址周辺コース
- 潘校致道館
- 鶴岡カトリック教会天主堂
- 藤沢周平記念館
- 大宝館
- 致道博物館
- 【職場体験学習】
- 産地直売員・巫女体験・ホテル業務・観光施設の案内ガイド・イタリアンレストラン、観光物産館の販売員など

学習効果

- 出羽三山の自然に身を置き、古より脈々と受け継がれてきた修験文化を体験することで自らを見つめ直すきっかけとなります。
- 地引き網の一体感、漁村の暮らしや交流を通して自然と調和した生き方を学びます。
- 職場体験学習により地域社会のしくみを知り、自立心と積極性を育てます。

カントリーエレベーター見学

庄内平野は日本屈指の米どころです。鮮度を保ち美味しいお米を消費者に届けたいという願いから生まれたのがカントリーエレベーターです。お米の貯蔵・乾燥・調整など、カントリーエレベーターの働きを学びます。

余目町農業協同組合
■所在地 庄内町余目字三人谷地172
■TEL 0234-45-1505
■FAX 0234-43-4939
■URL http://www.ja-amarume.or.jp
■メールアドレス jaehou@atlas.plala.or.jp
■受付可能期間 11月～8月(応相談)
■受入れ可能人数 40名～50名
■所要時間 40分
■料金 お問い合わせください。(応相談)



風力発電見学・学習会

庄内地域は全国でも稀な強風地帯として知られています。その強風を地球に優しいエネルギーとして活用するために全国に先駆けて風力発電を取り入れました。施設では、風と風力発電に関する体験学習ができるほか、風車の現地見学もできます。

ウィンドーム立川(庄内町風車村センター)
■所在地 庄内町狩川字笠山444-9
■TEL 0234-56-3361
■FAX 0234-56-3350
■E-mail windome@town.shonai.yamagata.jp
■受付期間 月曜休館(通年)
■対象学年 小1～
■受入人数 50名～80名
■体験時間 1時間程度(映像学習30分)



米沢市

上杉の城下町 米沢
伊達政宗生誕の地、直江兼続、上杉鷹山公で
知られる上杉の城下町米沢で歴史と伝統文化を学ぶ

米沢は、古くから栄えた土地で、国指定史跡になっている縄文時代の矢来の一ノ坂遺跡、平安時代の古志田東遺跡など数多くの遺跡が確認されています。
長い歴史のなかでも第9代藩主上杉鷹山による藩政改革が有名です。財政が逼迫していた米沢藩に率先して大検約を行うとともに、数々の殖産振興政策を展開し困難な状況の下、「なせば成る」の精神で改革を成功させた鷹山は、現在も理想のリーダーとして高く評価されています。
また鷹山公の精神を受け継いだ伝統工芸、食文化、ものづくりの精神などが数多く残され、伝統産業の米沢織物と合わせ県内一の工業出荷額がある、産業都市でもあります。
最近では次世代照明の有機ELなどにも大きな期待がかけられています。

見どころ1 上杉神社

名将上杉謙信を祀っており、現在の本殿は明治神宮や平安神宮の設計者として知られる、本市出身の伊東忠太博士の設計により大正12年に建てられました。(国指定登録有形文化財)



見どころ2 稽照殿

上杉神社の宝物殿として、上杉謙信の遺品、刀や甲冑などを収蔵展示しています。直江兼続が所有していたといわれる愛の前立ての甲冑は有名です。(国指定登録有形文化財)



見どころ3 伝国の杜

数千に及ぶ上杉氏ゆかりの貴重な品々や国宝を収蔵。特に国宝上杉本洛中浴衣は必見です。常設展示室では上杉の歴史と文化を中心とした「江戸時代の置賜・米沢」を主軸に構成されており、企画展示室では、歴史や美術に関する企画展などを開催しています。



見どころ4 米沢らーめん

米沢らーめんの特徴は熟成させた加水率の高い細打ち縮れ麺、あっさりとした醤油味のスープが特徴。出汁は鶏ガラ、豚骨、煮干しなどを使う店が多い。市内だけでも100軒を超えるラーメン店があり、その味を競っています。



街歩きのヒント

- 1 歴史上有名な戦国武将ゆかりの場所を訪ねよう。
2 藩政改革で人々を救った鷹山公の遺業跡を探しながら歩こう。
3 米沢の伝統の技と味に関わるお店を巡ってみよう。

※米沢市のアクセスはp.44に掲載しています。

人と暮らしに 感動体験

とんぼ玉制作体験

とんぼ玉を2個作成します。とんぼ玉とは手作りガラスビーズのことで、とんぼの複眼に似ていることから、江戸時代頃にその名前が付けられました。

とんぼ玉と民芸和紙 大和屋
所在地 米沢市松が岡2-1-82
TEL 0238-23-1118
E-mail yamatoya.8739@nifty.com
受付期間 通年 10:00~16:00(日曜定休)要予約
対象学年 小学6年以上 受入人数 4~6名
体験時間 60分 料金 1,980円
URL http://yamatoya8739.web.fc2.com



手織り体験、紅花染め体験

上杉藩より受け継がれている米沢織の手織り体験(シルクコースター)と紅花染め(綿ハンカチ)の体験ができます。

米沢織染織工房わくわく館
所在地 米沢市御廟1-2-37
TEL 0238-24-0268 FAX 0238-49-8686
E-mail info@wakuwakukan.co.jp
受付期間 通年 9:30~16:30(水曜定休)要予約
対象学年 小学生以上 受入人数 紅花染め 50名まで
体験時間 30分 手織り 20名まで
料金 1,080円~
URL http://www.wakuwakukan.co.jp/



鶴岡市

時代小説の原風景・城下町
つるおかの歴史遺産に学ぶ「時の旅」

平成17年に六市町村が合併し、面積は1,311平方キロメートルと東北一、全国でも10番目の広さとなった鶴岡市。現在は「観光文化都市宣言ー観光で人と人が繋がっていくこと」を目指し、多種多様な観光資源を活用しながら、観光力の向上と交流人口の拡大に向けて取り組んでいます。最近では、ミシュラン・グリーンガイド・ジャポンで三ツ星を獲得した「羽黒山杉並木」や、クラゲ展示種類数世界一としてギネスブックに登録された「鶴岡市立加茂水族館」など、世界的にも高い評価を得た観光スポットも市内各所に点在します。

見どころ1 庄内藩校致道館

1805年、酒井家9代目忠徳公が創設した藩校。現在は聖廟や講堂、御入間、御門など残され、当時の教科書やその版木などを展示。東北地方に現存する唯一の藩校建造物として国指定史跡となっています。



見どころ2 鶴岡カトリック教会天主堂

明治36年に建てられたカトリック教会は、ロマネスク様式教会建築の傑作として国の重要文化財に指定されています。世界的にも珍しい、黒い聖母マリア像は国内ではこの教会でしか見ることができません。



見どころ3 藤沢周平記念館

時代小説の名手、藤沢周平の文学世界を深く味わう拠点。直筆原稿や創作資料、愛用品などを展示し、様々な切り口から藤沢周平の作品世界と生涯を紹介しています。展示室内には、自宅書斎も再現され、執筆・創作の現場を垣間見ることができます。



見どころ4 大宝館

大正天皇の即位を記念して建てられたもので、オランダバロック風とルネッサンス風のドームをあわせ持つ、完成度の高い擬洋風建築です。



街歩きのヒント

- 1 唯一現存するいしへの藩校は「自主性」を育てる場でした。往時の藩校生になったつもりで鶴岡を歩き、歴史や伝統を学ぼう。
2 江戸・明治・大正・昭和を代表する歴史的建造物や施設を探してみよう。
3 その時代に合わせた民芸品作りにもチャレンジしてみよう。

※鶴岡市のアクセスはp.44に掲載しています。

人と暮らしに 感動体験

鶴岡絵ろうそく絵付け体験

庄内藩酒井公が参勤交代の際に江戸幕府に献上し、十一代將軍家育に日本一と称された由緒ある逸品です。御所車(源氏車)や蓮華、花模様などの絵柄を顔料で描いた蠟燭で華やかな色彩模様が人気です。

富樫ろうそく店
所在地 鶴岡市山王町10-52
TEL 0235-22-1070 FAX 0235-25-0325
受付期間 通年 第3日曜定休 9時~16時
対象学年 小1~中3 受入人数 50名
体験時間 60分程度 料金 500円~



御殿まり制作体験

江戸時代に庄内藩の奥方、奥女中たちが手ぬみに作ったのがはじまりと伝えられる郷土玩具。色とりどりの糸で一針ひと針刺された端正な模様が美しいです。

上野御殿まり教室
所在地 鶴岡市本町一丁目5-36
TEL 0235-22-8140 FAX 0235-22-8140
受付期間 通年 日曜定休 9時30分~15時
対象学年 小5~中3 受入人数 30人
体験時間 60~90分程度
料金 小まり500円、まり1,500円



酒田市

米どころ山形と京をつないだ海の道、
大火災からの復興の足跡をめぐる学び

酒田市は、中世以来日本海海運によってにぎわった美しい港町。現在も市内では、港の隆盛に伴ってもたらされた北方や上方文化の名残が見られます。諸国から船で運ばれるお米の集積所として建てられた「山居倉庫」は、今も現役で、産業観光の拠点として美しい外観を留めています。また酒田市は、昭和51年に中心市街地の半分を焼失させる大火を経験しています。あれから40年、古い酒田の町並みと復興した商店街の対比や、商店街の防災への工夫、類焼を免れた古い町家へのこころ人々の知恵を街歩きの中で見る事が出来ます。

見どころ1 市立資料館

資料館には、酒田の歴史や昭和51年の大火の様子分かる貴重な資料が展示されています。学生50円隣接して、緑地と幅員30メートルの4車線の通りが設けられており、大火の原因になった冬季の偏西風に対して、防火帯の役目を担っています。



見どころ2 本間家日本邸

酒田の大地主で豪商だった本間家の本邸。2000石の旗本級の屋敷と、商家づくりを折衷させた珍しい建築物です。邸内のタブの植栽が、大火の折の類焼避けになったといわれています。小 200円 中 300円



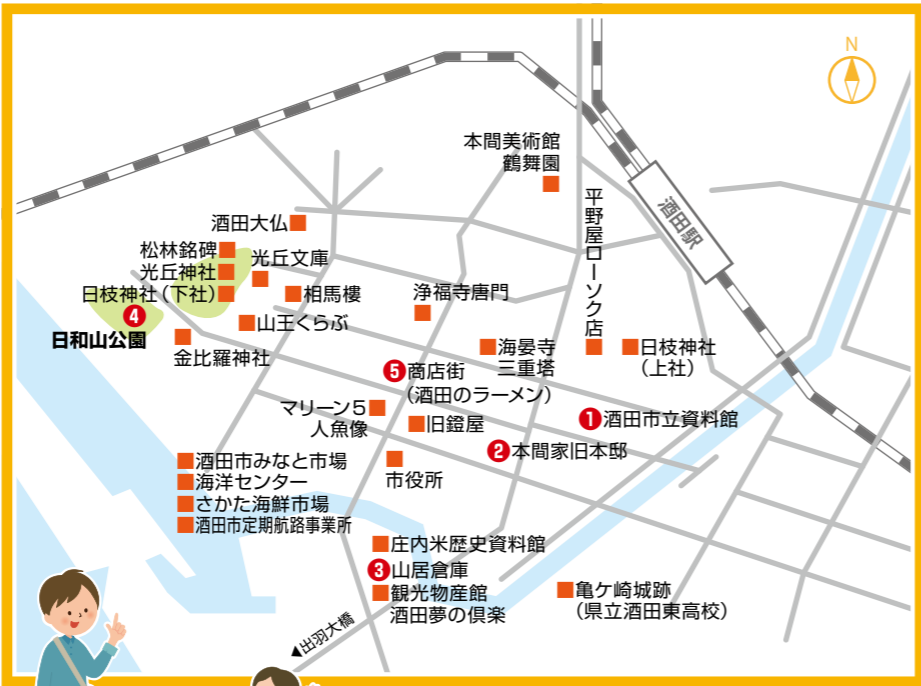
見どころ3 山居倉庫

1893年築の9棟の土蔵造り米穀倉庫。現在も18万俵の収容能力があります。構内には、最上川舟運で活躍した小鶴船展示など見どころもたくさん。「庄内米歴史資料館(小150円 中200円)」や観光物産館「酒田夢の倶楽部」も必見。



見どころ4 日和山公園

かつて船乗りたちが、出船入船を見定めたと見られる下り丘で、江戸時代の港湾施設の名残。園内には、築200年になる湊の常夜灯や、日本最古級の木造灯台。1/2スケールの千石船があります。また、周辺には、かつての港の栄華のなごりを守る「山王くらぶ」や「相馬樓」があります。



街歩きのヒント

- 海運と米の取引でにぎわった頃の名残を探してみよう。山居倉庫(庄内米歴史資料館 小鶴船) 鎧屋(日本永代蔵) 日和山公園 山王くらぶ 相馬樓など
- 昔からの防災の工夫、新しい防災の工夫を探してみよう。常緑広葉樹の植栽 二車線の道路 街の中の緑地 非アーチ型のアーケード 資料館
- 酒田は、古来三十六人の町衆による自治が行われていた街。豪商たちの街づくりの跡を確かめよう。日和山松林銘碑 光丘神社 光丘文庫

*酒田市のアクセスはp.44に掲載しています。

人と暮らしに 感動体験

酒田舞娘演舞鑑賞体験

湊にほど近い、日和山舞娘坂の相馬樓では、土地の小唄に乗せて舞娘さんたちによるあでやかな演舞の鑑賞ができます。海運が運んだ京の科学文化の名残を体感ください。また、相馬樓内には、大正期の高名な画家、竹久夢二の個人美術館が整備されており、美しい作品を見ることが出来ます。

相馬樓
 ■所在地 山形県酒田市日吉町一丁目舞娘坂
 ■TEL 0234-21-2310 ■FAX 0234-21-2924
 ■E-mail somaro@sage.ocn.ne.jp
 ■受付期間 通年 毎日14時 水曜定休
 ■対象学年 中学生以上 ■受付人数 約50名まで
 ■体験時間 40分 ■料金 入館券+鑑賞券1,000円
 ■URL http://www.somaro.net/



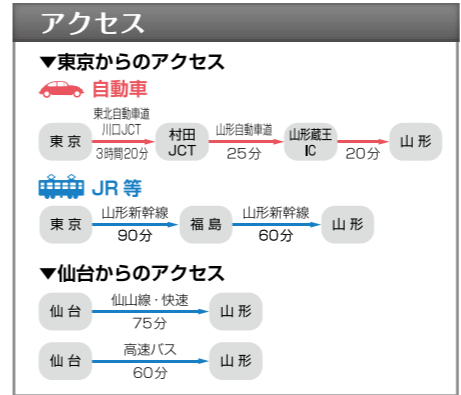
傘福づくり体験

傘福は、日本三大つるし飾りの一つ。酒田に伝わる伝統的な工芸飾りで、古くは子供の成長を願って、寺社に奉納されていたといわれています。鯛や海老、宝珠など縁起物60種類以上をモチーフにしたオブジェが特徴です。体験作業では、その内、一俵のオブジェを制作、お持ち帰りいただけます。

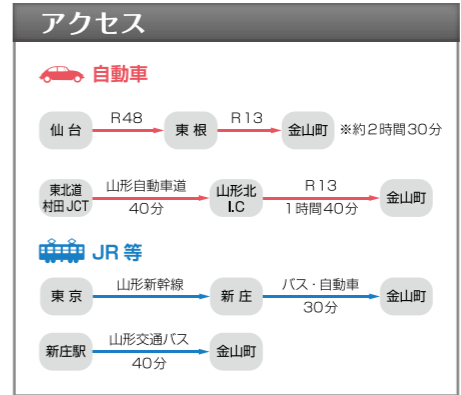
酒田商工会議所女性会
 ■所在地 酒田市日吉町二丁目2-25山王くらぶ
 ■TEL 090-7320-0682 ■FAX 0234-22-0146
 ■E-mail なし
 ■受付期間 土日*平日は事前予約
 ■対象学年 小学高学年~ ■受付人数 10名弱
 ■体験時間 60分 ■料金 600円~1,000円*教材による
 ■URL http://www.sakata-cci.or.jp/bwc/info.html



山形市



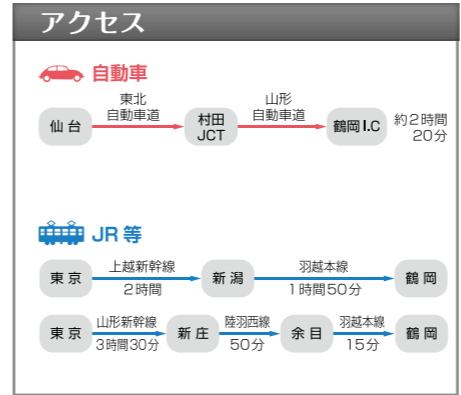
金山町



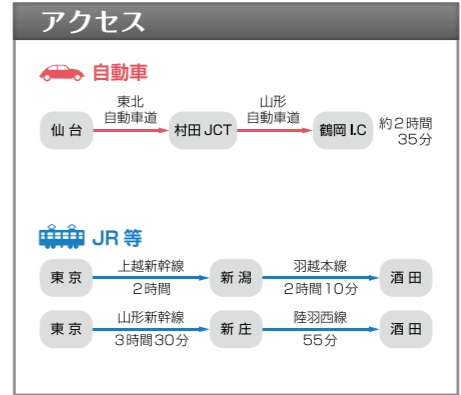
米沢市



鶴岡市



酒田市



主要病院・消防・警察・保健所・観光協会 案内

■主要病院

山形県救急電話相談			
#8000・#8500	急な病気の際に、協力医師の支援体制のもとに専門的な知識と経験を有する看護師が、医療機関への受診や家庭での対処方法についてアドバイスを行うことにより、安心して生活していただくことを目的として、救急電話相談を実施しています。		
休日・夜間急患センター			
山形市休日夜間診療所	山形市香澄町2-9-39	023-635-9955	月~土曜日(夜間) 内科:19:00~23:00 小児科:19:30~22:30
新庄市夜間休日診療所	新庄市堀端町3-33	0233-29-6300	月~土曜日(夜間) 内科・小児科:18:30~21:00
米沢市平日夜間・休日診療所	米沢市西大通1-5-60	0238-22-9922	月~金曜日(夜間) 内科・小児科:18:30~21:00
鶴岡市休日夜間診療所	鶴岡市泉町5-30	0235-23-5678	月~土曜日(夜間) 内科・小児科:19:00~21:30
村山二次保健医療圏			
施設名	住所	電話番号	電話番号
国立大学法人 山形大学医学部附属病院	990-9585 (鶴) 山形市飯田西二丁目2番2号		023-633-1122
山形県立中央病院	990-2292 (鶴) 山形市大字青柳1800番地		023-685-2626
山形県立総合療養訓練センター	999-3145 上山市河崎三丁目7番1号		023-673-3366
山形市立病院済生館	990-8533 (鶴) 山形市七日町一丁目3番26号		023-625-5555
天童市民病院	994-0047 天童市駅西五丁目2番1号		023-654-2511
社会福祉法人恩賜財団済生会 山形済生病院	990-8545 (鶴) 山形市沖町79番地の1		023-682-1111
公立学校共済組合 東北中央病院	990-8510 (鶴) 山形市和合町三丁目2番5号		023-623-5111
医療法人藤田好生会 藤田総合病院	990-0045 山形市桜町2番68号		023-623-1711
医療法人横山厚生会 横山病院	990-0031 山形市十日町三丁目6番48号		023-622-3415
医療法人藤田好生会 天童温泉藤田病院	994-0024 天童市鎌田一丁目7番1号		023-653-5711
医療法人社団松相会 至誠堂総合病院	990-0045 山形市桜町7番44号		023-622-7181
医療法人社団 小白川至誠堂病院	990-0034 山形市東原町一丁目12番26号		023-641-6075
矢吹病院	990-0043 山形市本町一丁目6番17号		023-641-7330
吉岡病院	994-0026 天童市東町三丁目5番21号		023-654-1188
医療法人社団みゆき会 みゆき会病院	999-3161 上山市弁天二丁目2番11号		023-672-8282
井出眼科病院	990-0039 山形市香澄町三丁目6番13号		023-641-3111
独立行政法人国立病院機構 山形病院	990-0876 山形市行方126番地の2		023-684-5566
山形県立河北病院	999-3511 河北町谷地字月山堂111番地		0237-73-3131
寒河江市立病院	991-8508 (鶴) 寒河江市大字寒河江字塩水80番地		0237-86-2101
朝日町立病院	990-1442 朝日町大字宮宿843番地		0237-67-2125
西川町立病院	990-0702 西川町大字海味581番地		0237-74-2211
北村山立病院	999-3792 (鶴) 東根市温泉町二丁目15番1号		0237-42-2111
医療法人社団明山会 山形ロイヤル病院	999-3712 東根市大森二丁目3番6号		0237-43-8080
山形徳洲会病院	990-0834 山形市清住町二丁目3番51号		023-647-3434
医療法人敬愛会 尾花沢病院	999-4222 尾花沢市大字麗気695番地の3		0237-23-3637
最上二次保健医療圏			
施設名	住所	電話番号	電話番号
山形県立新庄病院	996-0025 新庄市若葉町12-55		0233-22-5525
町立真室川病院	999-5312 真室川町大字新町469番1		0233-62-2211
最上町立最上病院	999-6101 最上郡最上町大字向町64番地の3		0233-43-2112
新庄徳洲会病院	996-0041 新庄市大字鳥越字駒場4623		0233-23-3434
置賜二次保健医療圏			
施設名	住所	電話番号	電話番号
公立置賜長井病院	993-0002 長井市星城町2番1号		0238-84-2161
白鷹町立病院	992-0831 白鷹町大字荒砥甲501番地		0238-85-2155
小国町立病院	999-1356 小国町大字あけぼの一丁目1番地		0238-61-1111
米沢市立病院	992-8502 (鶴) 米沢市相生町6番36号		0238-22-2450

お問い合わせ 酒田市観光振興課 TEL 0234-26-5759 FAX 0234-22-3910
E-mail kankou@city.sakata.lg.jp